

おいしい地酒できました

下金山産はくちょうもち米を使用 どぶろく「白金山」遂に完成

「南富良野産もち米研究会（渋谷英之会長）」が取り組んだ「南富良野産もち米」を使用した「どぶろく白金山」がこのほど完成し、4月8日にお披露目会が行われました。研究会では、昨年12月に試作品の試飲会を行い、出席者へのアンケート調査を元に、製造元の田中酒造株式会社（小樽市）に醸造を依頼し、更に改良を加えこのたび完成したものです。

完成した「白金山」は、平成19年産の「はくちょうもち米」を使用して製造され、はくちょうもちのような白色で、味は甘口で口当たりが良く、とてもクリーミーで女性の方にも飲みやすいどぶろくになりました。

お披露目会では、地元農業者や住民をはじめ、農協関係者など80名が出席する中、鏡開きが行われ、地酒「白金山」の完成を祝いました。

鏡開きを使用した大樽には、完成した「白金山」とは対象的な辛口の「白金山」が振舞われ、出席した皆さんは早速飲み比べをしていました。

できたてのどぶろくを味わった皆さんは、「すごく飲みやすい」「とてもおいしい」「酒好きには辛口がとても良かった」などと感想を話しながら、コップに注がれた「白金山」を次々と飲み干していました。



完成した「白金山」のラベルの文字は、渋谷会長の直筆で、背景には白鳥がのんびりと泳ぐ写真が使用されています。「白金山」を手に取り渋谷会長は、「たくさんの皆さんに飲んでいただいで、もち米の消費拡大につなげるとともに、更に付加価値を高めるため、今後いろいろな商品づくりに挑戦したい。」と話していました。

「白金山」は1本500ml入り1,300円（税込）で町内のお酒販売店で販売中です。

南富良野高カーリング部 悲願の全国初優勝ならず

第3回全国高等学校カーリング選手権大会が、3月20日から青森市で行われ、第1回大会から3年連続での出場となる南富良野高校男子カーリング部は、予選リーグを4勝0敗の1位で決勝に進出し、地元青森選抜と対戦しましたが、接戦の末4対5で敗れ悲願の初優勝はなりませんでした。南富良野高校男子カーリング部は、過去2大会ではいずれも3位であったため、今大会で初の優勝を目指して練習を続けてきました。チームは、3月1日に卒業した3年生が主体で、高校生活での集大成として大会に挑みましたが、あと一歩及びませんでした。選手の間は、「優勝は後輩達に託します。」と話していました。

目黒萌絵選手カーリング世界選手権4位入賞 2大会連続のオリンピック出場に期待高まる



本町出身の目黒萌絵選手が日本代表「チーム青森」の司令塔として出場した、カーリング女子世界選手権が3月にカナダで行われ、世界の強豪国を相手に日本女子としては過去最高成績に並ぶ4位に入賞しました。

目黒選手は、チームでは戦術などを決めるスキップとして活躍し、チームを牽引しました。今回の大会には12カ国が出場。予選リーグではライバル中国に競り勝ち7勝4敗の4位タイとなり、その後のプレーオフなどで強豪スイスを破るなど快進撃。準決勝では前回覇者のカナダに延長の末に惜しくも8対9で敗れましたが、4位入賞となりました。世界選手権は、2010年にカナダで行われるバンクーバーオリンピックの出場権獲得に重要な大会で、世界選手権でのポイント上位国から出場権が与えられることになっており、日本代表の今大会での好成績により、目黒選手の2大会連続でのオリンピック出場に期待が高まります。